



ほろり物巻

よみのまき
ほろりの巻

〜 13
3194
3上



門へ 13
號 3194
卷 3

西山おぼ

おぼの巻

昭和九年
十月二日
購末

おぼか

子らう人よあやう。おぼあがらひことあやう。まき
くらちまなりしておぼまきまきかど。たうく
うけひいづ。そがうまあうくのうほらうそ
まこえなまあなま。あうのまたららぬ。おぼ
よ詰うけひいおぼあらまもま。ちあま
しん詰まきまきあやう。おぼか

かかせて。うけひよ。ま。ぞも。また。た。て。あ。さ。せ。く。れ
く。た。ま。ひ。き。ふ。は。し。く。ハ。や。た。ん。も。ま。と。は
な。う。れ。お。も。う。じ。て。い。ま。し。ら。あ。の。か。は。り。母
も。ち。り。も。け。し。た。と。う。は。れ。く。い。ま。の。ひ
ア。ら。ま。の。め。て。や。と。声。と。た。い。い。泣。か。る。
ち。り。の。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い
か。は。り。の。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い
く。ら。ち。り。の。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い
の。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い

や。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い
て。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い
ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い
れ。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い
お。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い
と。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い
ほ。い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い
い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い
い。ま。の。か。は。り。を。い。た。ま。い。た。ま。い。た。ま。い

とも。かたも。びと。の。な。は。い。て。ね。ど。ら。れ
 お。は。や。う。な。い。う。な。ま。も。あ。と。う。な。い。
 ま。い。い。は。い。ま。つ。い。て。を。ま。め。退
 て。よ。か。よ。湯。り。を。と。掃。ふ。の。あ。葉。ひ。て。か。
 こ。う。い。置。い。ま。湯。か。び。ら。和名今云
 の。あ。も。も。あ。た。な。い。ま。と。な。い。と。
 出。り。ま。あ。み。さ。せ。髪。り。げ。さ。せ。万葉
 け。の。例。さ。て。あ。い。の。衣。あ。つ。さ。い。む。い。と。
 て。い。よ。い。さ。い。ひ。あ。さ。か。さ。せ。
領中ハ上代女の
冠ハ今の形

つら。あ。は。い。け。ほ。た。の。の。の。の。の。の。の。
 な。い。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
 あ。い。ま。あ。い。ま。あ。い。ま。あ。い。ま。
 て。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。
 湯。は。い。お。う。な。い。陶。物。文。巻。物。の。た。が。い。
 ま。も。も。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。
 い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。
 ひ。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。
 の。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。
延喜式
唐の席
延喜式
枕の形

よしおひきく。これかぞへたくりおてをむ
 らしーが。一ウツ代よのふこのほつゝのけ
日本紀たさうつてけ種く古と母もあま
 まつとせで。けほごちりくはは。み我
救ひさるるめいぐちをさしてなまけく。
 かほほつゝのあやぐも。くろくおんま
器うつゝのあやぐも。くろくおんま
 さて申のミおんま許あやぐも。くろくおんま
 けく。公許あやぐも。くろくおんま
 ー

さか入もしつゝのあやぐも。くろくおんま
 子がれり。あやぐも。くろくおんま
 ひそしつゝのあやぐも。くろくおんま
 さいお。とさうつゝのあやぐも。くろくおんま
祝詞無片氣けつゝのあやぐも。くろくおんま
 後らる。さてあやぐも。くろくおんま
 さいお。とさうつゝのあやぐも。くろくおんま
 さんせまつゝのあやぐも。くろくおんま
 けく。くろくおんま
 けく。くろくおんま

けく。くろくおんま
 けく。くろくおんま

色うづふここの葉あるよまたものよとて
 いづれうあこいさまでいあんだま
 とらるを母はこいこいでふてはみごとお
 こながらこいなるあむでとさうて
 かしら母よおられてはまはあの乃方と
 いづれのものもたさやたのまじ
 とあつはけく。たのうこことまはとげねど
 物もこのたさむしりごと。けふがなと。松と
 ぢむのらさうこいこい。今まそハ弁

くおりのうらうら。のたさういじまら
 君とせめてたけりよあまて老の身も
 ふとものたけよ何えなむじものよと
 かくりあもんほをまはたぐ老のまをたう。まを
 りありのそこの何らしておはまじえハハ高よ又
 思ふあまハ何とどしじあほもさばふはう
 おぼせ。何そははうけれあまをせせちや
 じりあこもあよふまはうこ部
 てアセー。あまうらるる同まやこ部
 詰の人あま

あまハハ高
 之田所萬葉

八音おほりのたぐらふ。こハなごめりて
 うまうたよ。よもいふ。いんか。うて。た。あ。ま。は
 何ら。ど。か。は。な。ご。い。ハ。め。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 まで。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 おん。ま。は。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 だ。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 り。ね。こ。ハ。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 と。て。こ。そ。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 ま。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は

とか。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 ぐ。と。は。う。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 さ。や。れ。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 け。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 く。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 よ。う。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 ー。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 ー。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 ー。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は
 ー。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は。い。ん。か。う。て。た。あ。ま。は

うけくらひたり。ばらばらとちよとちよおいて
 父の居る所へもどつて。おののけいけい。おの
 うか。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 えこと。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 て。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 い。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 う。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 う。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 う。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 う。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの

き。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 と。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 う。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 ま。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 ね。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 と。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 う。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 こ。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 う。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 う。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの
 う。おのけいけい。おのけいけい。おのけいけい。おの

なぐ 日本不意 紀の美 おたろしむとぞ。海もかこひま

そはらへくび。こころの御義ぬしはらうま
おろせり。かまふ後ひらうれしむらう
まらきるかの海もこのまらなるま
けしんたてしむらうのまらなるま
しとおのあひひらうのまらなるま
ひきたてくべし。七音かへ撥とてや
らふ。くしんたてしむらうのまらなるま
もくしんたてしむらうのまらなるま

万葉

本ハ。そののたのめもよか。しん
ひそめてまらなるまら。くしんたてしむら
よ。ハ。くしんたてしむらうのまらなるま
ら。くしんたてしむらうのまらなるま
のたまらなるまら。くしんたてしむら
ら。くしんたてしむらうのまらなるま
今。くしんたてしむらうのまらなるま
よ。くしんたてしむらうのまらなるま

よのこの巻

かくておはやけのたれまてしよまてしよま
らだもかたりりり。

さだだぬくひのハもたひうねいハ

流るてあの上りもめりり

古今宿 帆海の
舟さうり金下りま

これハその以母のよみりるあとして人のたが

らひりる。さてハ前ハやぞ。守の正統よそく

まらちちふべくもゆよ。宇瀨美子の後そ

びもたげてころしつて。身ハおるげ万
葉とてい

乃こしこまじりなるよ敬
旅

まてハ日本
紀さひしもろーめいハたバ。こいたりててび

りり。されどいかりちよひのもせハ。さくさくい

いつゆももれゆしそり。いりなる。い

あもま舞れさるよおまづうまて。いしむら

いりハのたけのりむはるとゆのあちよまが

くもとて。さあぐ昔いりり古
語みよくたまけ

えまらぐいあやばなまそ。こ人思たりつけ

て卯伊の郡はくさつとた。志はな
るいづりてあてにうつり。さそ縁
生ももなれた。八節ハらづまへくさるは
宇酒美ハたごを邪へあなうり。
りつれとせり。りつれ。奥座り
兼いしけら日本紀一折のしけとをさなり。
さそたよ人乃流乃名と。そのほけのし
ひね陶よからつけ。お夕花とたさうりあ
とをりたハし何もさや。ち流をれ。

兼五 芳る水よみらままれ。兼おハまじあまてい
と川をらまのうてねとやまひ。ささひ
をてし縁がひとをさそたさる。やひつね
をさらり古今集とさら兼とら流をて。
あのををもさ。あそまひ海をよ。さ
しつ竹吹風も。兼五 秋あつひのしけり
からいも何はな。海のおりてハか
ららぬを。まのまや。あしをく。それ
まぬ花どのほさうばらさだるよ。あ

してさうらひたうしよ。みよ穂のりの
古事記

秧リ兼万梅鹿のころえ万兼万兼校なごも。海で記
兼なごもさうしよ。あやよ。さるむせ
兼なごまのさまぬよ万兼万兼校なごもさうしよ。あやよ。さるむせ

妹してさうらつらうの海をイニ山

こたぐさげくあよきさるうも万葉

とわとらるはみほみどく記等してかい
つけく兼なごの梅よつけくるはるこそ
母えぬでこころよたのよあつじ。海等のよさる

てもなはなほさるひいしよなごさめ
きく。ころひきほなごの海を
るはれぞ

ほごさるの海こそなごあれ
むらさきぞさるはる古今集

その後よさうらひたうしよ。さるむせ
うねつさ兼なごのさるむせ。なごの
くさるはなごよ。梅もなごらう。海く海
したる海をさる。海の海をさるはる

よ。よ。よ。人ごちあぢぢ。あぢぢぢぢ。
ぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢ。
ぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢ。
ぢぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢ。
ぢぢぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢ。

杖乃の海のはるもさぐは帰る密ハ
秋ごもあやうおあるもさぐ古今集
こよひはけ異はおりのあつ。だぢぢぢぢぢぢの
なごぢぢぢ。ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。



りひつ。奥座とるれハ。まなとのけぢぢ。
けぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。
ひぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。
て古事ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。
ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。
乃道ハ。ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。
るぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。
なごひーぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。
なごらぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ。

まじかけじとされ。火にこせし。の。照。を
 よし。つ。あ。声。し。た。と。え。ん。れ。ば。白。を。衣いぬと。身。に
 ひ。き。ま。し。ひ。た。ら。と。あ。れ。か。ら。の。暖あたたかい。を。思
 くて。う。ち。あ。ま。ぬ。あ。た。り。あ。う。の。た。ま。あ。た
 そ。や。い。と。あ。る。ま。は。い。い。あ。よ。あ。り。れ。ま。た。と。い。ひ。
 あ。く。も。は。い。よ。ま。う。せ。た。ま。る。な。り。と。て。古今い
集ま
とていこまのあまの後のまよ
いこのころよ府せぬまね ほとやうな家から
 と。あ。げ。ま。る。あ。る。あ。う。う。つ。は。い。こ。さ。り
 く。あ。ら。い。く。い。ま。ま。の。世古
話あ。ら。る。ひ。と

お。り。ひ。ま。い。り。き。き。あ。ら。ま。こ。い。い。あ。ら。あ。ら
 た。ら。は。あ。ら。あ。ら。い。う。那。ま。う。け。は。い。い。い。い
 あ。あ。あ。あ。あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い
 よ。い。れ。ば。よ。今。は。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い
 の。い。お。ほ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い
 ら。あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い
 そ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い
 つ。あ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い
 て。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い

ほふいの巻

あはつしつらあつひらるる。後にはな
 るとこれらにせしむるもつてハ
 高がさうのはるざと。んぐあまかしく
 かくとうらせたるなり。あせふハ親
 よつらるるらうあまうおこしく。
 太刀のせよみやみまは。さうみ
 乃いとたらしもむじくひつら。我
 てハあが根とハ。あまよひせハらと

こころあつら^兼わりのいれぬど。あまのえ
 ともむ。なうくひひあまのどと。ひそ
 くよんとあつらむじつてなむ。あつらひ
 たらぬるらひむ。あつらむららむら
 まうらとあつらむ。はくあつらむら
 りいりる。せむられとあつらむ。そ
 こつら。あつらむ。あつらむ。あつら
 りてあつらむ。あつらむ。あつらむ。
 そこのハあつらむ。あつらむ。あつらむ。

凌岱先生著

明和五年子二月吉且

書林

江戸通室町三町目

須原屋市兵衛

同 芝田町四町目

三河屋判兵衛

京堀川通佛光寺下町

錢屋七郎兵衛

同 三條通室町西八町

文臺屋太兵衛

三十四
三十七

